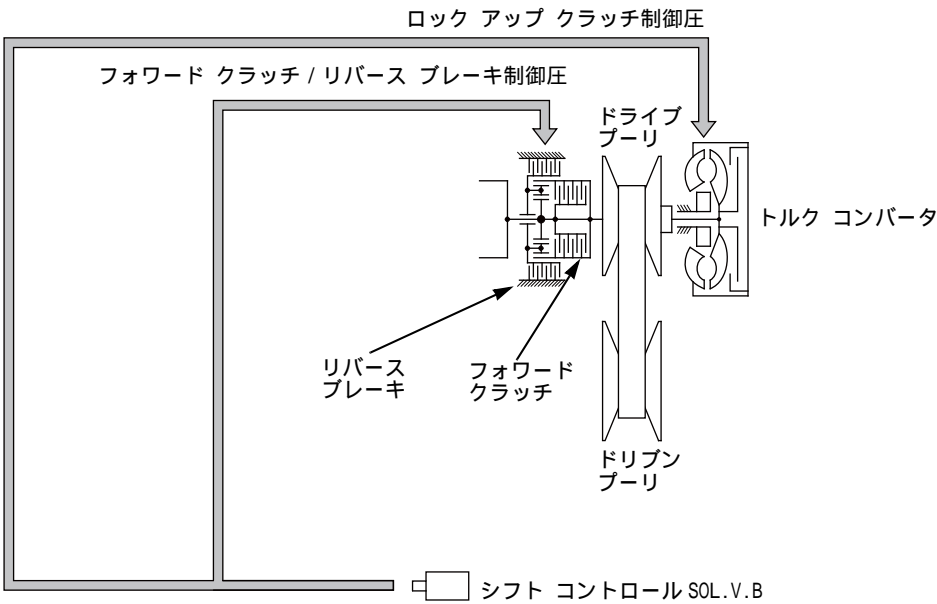


DTC 解説

DTC P0756: シフト コントロール SOL.V.B OFF 固着 (CVT システム)

検知原理解説



01_P0756P_SYYP10

シフト コントロール SOL.V. の組合せによる各クラッチの作動

ロック アップ クラッチ	フォワード クラッチ	シフト コントロール SOL.V.A	シフト コントロール SOL.V.B
OFF	ライン圧固定	OFF	OFF
OFF	ON	ON	OFF
ON	ライン圧固定	OFF	ON
ON	減速圧固定	ON	ON

シフト コントロール SOL.V. は、ON/OFF によりドレーン回路の遮断 / 開放を制御する。各クラッチの油圧を供給 / 排出する油路は、関連するシフト コントロール SOL.V. の ON/OFF の組合わせで切換えられる。
インギヤ（駆動力伝達状態）が正常に完了している状態でロック アップ クラッチが機能しない場合、シフト コントロール SOL.V.B の OFF 固着と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	再現テスト手法による
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法)、PGM-FI 警告灯：消灯、D 表示灯：点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

DTC 解説

検知実行条件

条件項目	下限	上限
エンジン回転数 [エンジン回転数]	1,000rpm	
車速 [車速]	45km/h**	3km/h*
アクセル ペダル ポジション*		0.7 °
アクセル ペダル ポジション 変化量**		13 ° / 秒
セレクト レバーの ポジション**	D、L、R	
当該 DTC の検知禁止要求を行 う DTC	P0122、P0123、P0222、P0223、P0335、P0339、P0501、P0502、P0606、P0705、 P0706、P0716、P0717、P0746、P0751、P0752、P0757、P0780、P0796、P0797、 P0962、P0963、P0966、P0967、P0970、P0971、P0973、P0974、P0976、P0977、 P1658、P1659、P1683、P1684、P16C0、P1898、P1899、P2101、P2118、P2122、 P2123、P2127、P2128、P2135、P2138、P2176	

* : 症状 1

** : 症状 2

[] : HDS パラメータ

故障判定基準

症状 1 かつ症状 2 が発生した場合。

症状	車両の状態	PGM-FI ECU の検出する情報
1	停止	N DもしくはN R ポジションへの インギヤ操作開始からインギヤ完了ま で 0.4 秒間未満
2	走行	目標 ETR と実際の ETR の差が 15% 未満 で 30 秒間以上継続

ETR: トルク コンバータ スリップ率

推定故障部位

シフト コントロール SOL.V.B の OFF 固着

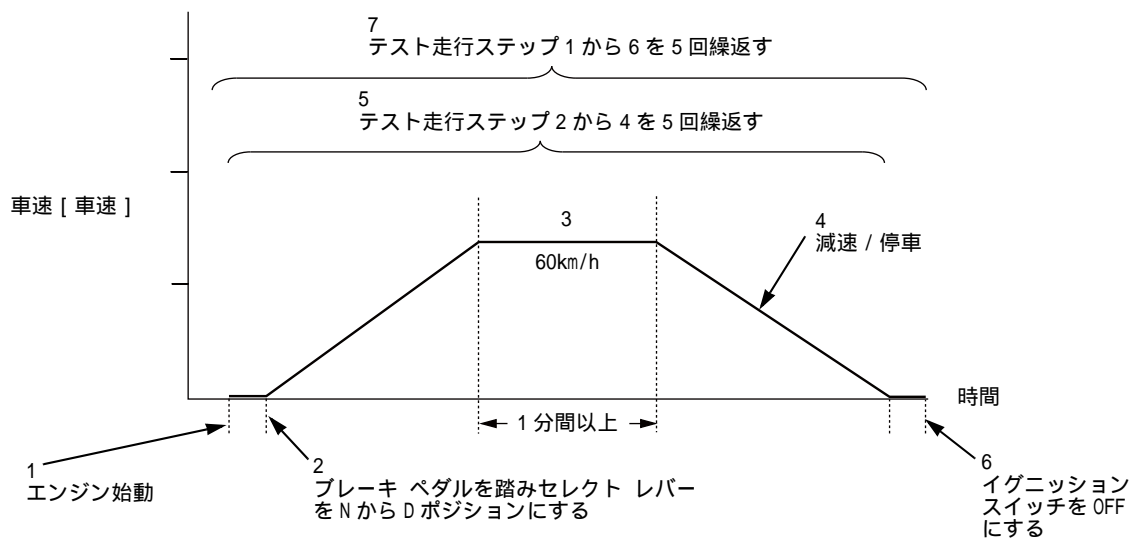
DTC 解説

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法



01_P0756D_SYYB00

1. エンジンを始動する。
 2. ブレーキ ペダルを踏みセレクト レバーを N から D ポジションにする。
 3. 車速 [車速] 60km/h で 1 分間以上走行する。
 4. 減速 / 停車する。
 5. テスト走行ステップ 2 から 4 を 5 回繰り返す。
 6. イグニッション スイッチを OFF にする。
 7. テスト走行ステップ 1 から 6 を 5 回繰り返す。
- ・ テスト走行を行う際は、法令遵守の上、マナーを守り周囲の状況に即した運転をすること。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2 連続検知) されると PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。